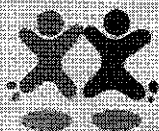


心の国境をなくそう！ Free your heart of borders!

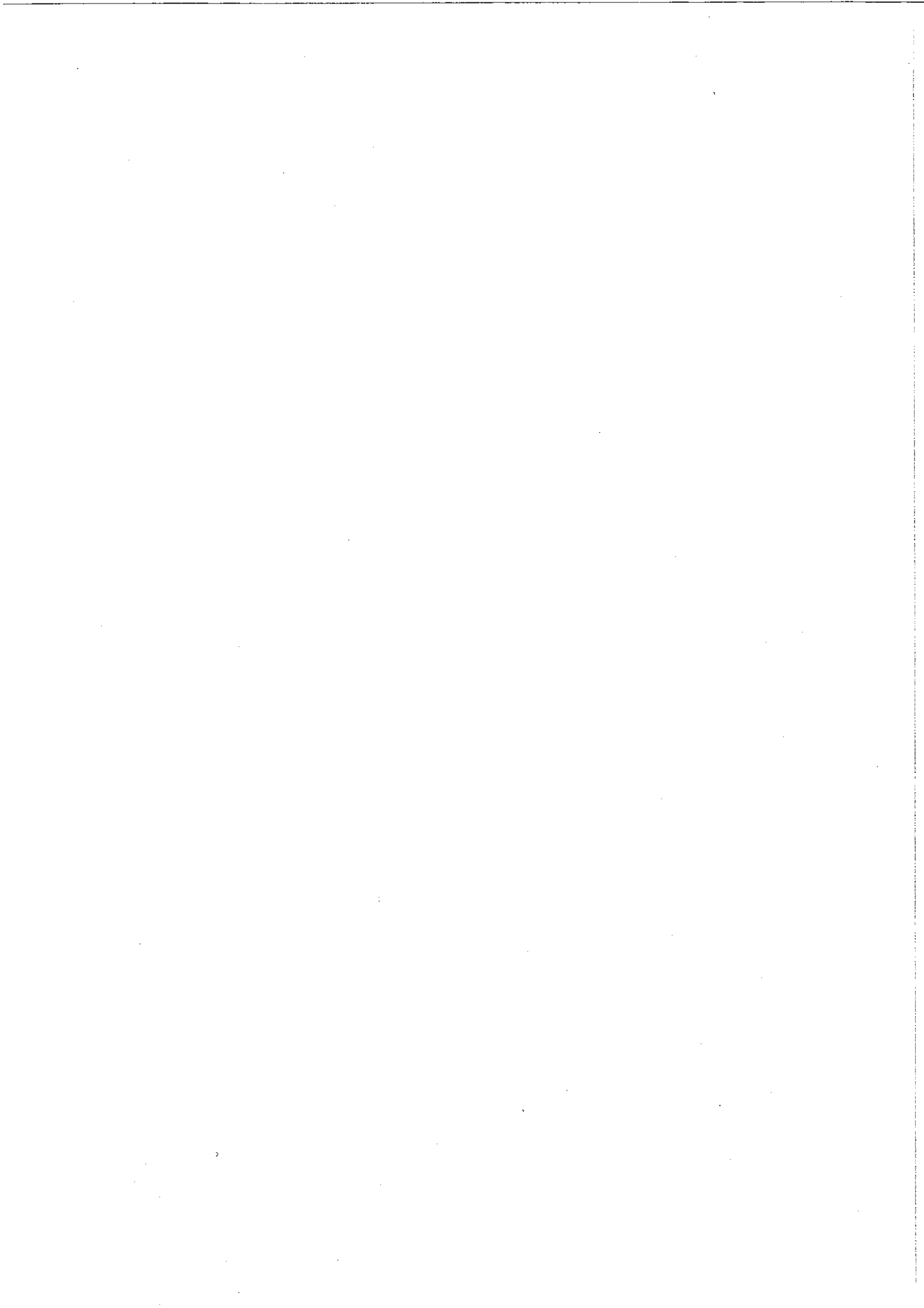
Saga
Prefecture
International
Relations
Association

佐賀県国際交流協会年報

2021年度事業



公益財団法人 佐賀県国際交流協会



CONTENTS

- 02 協会概要
- 03 役員名簿
- 04 事業年表
- 05 事業実績

A コミュニケーション支援

- 05 国際交流・協力情報誌発行（外国人向け）
- 05 情報収集・提供
- 05 日本語教室支援
- 06 日本語ボランティア研修会
- 06 外国人による日本語スピーチコンテスト
- 06 「やさしい日本語」啓発セミナー

07 B 生活支援

- 07 在住外国人生活支援
 - 生活相談、専門家相談
 - 健康相談
 - 医療通訳
- 08 子ども日本語学習サポーター等派遣
- 09 災害・コロナ対応



10 C 多文化共生の地域づくり

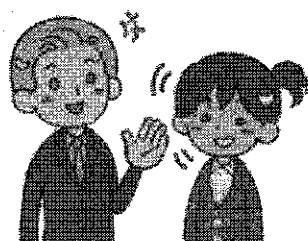
- 10 国際交流・協力情報誌発行（日本人向け）
- 10 地球発見隊出前講座
- 11 ボランティア啓発・推進
- 12 多文化共生等助成事業
- 13 さが国際フェスタ
- 14 多文化共生情報発信事業
- 14 佐賀県国際交流プラザ運営管理事業

14 その他の協会事業

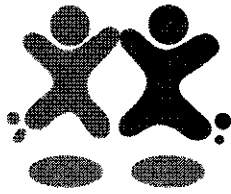
15 さが多文化共生センター

16 賛助会員

- 16 賛助会員募集



公益財団法人 佐賀県国際交流協会の概要



Saga
Prefecture
International
Relations
Association

SPIRAのシンボルマーク「手をつなぎ、楽しくコミュニケーションする人と人。緑は佐賀平野、赤はお互いの熱意、青は世界に広がる海のイメージです。」

公益財団法人佐賀県国際交流協会は、世界に開かれた佐賀づくりをめざして、県、市町村、民間企業、県民の方々の協力により、県民総参加の国際交流を推進するための中核組織として1990年（平成2年）2月7日に設立され、2013年（平成25年）4月1日に公益財団法人となりました。

そして一昨年、設立から30周年の節目を迎えることができました。これもひとえに、長きに渡り当協会の事業にご支援・ご協力いただいた皆様のおかげです。心より御礼申し上げます。

佐賀県には、2022年（令和4年）1月1日時点で6,391人の外国人が生活しており、2016年（平成28年）には全国1位の増加率を記録するなど、ここ数年で大きく増加しています。

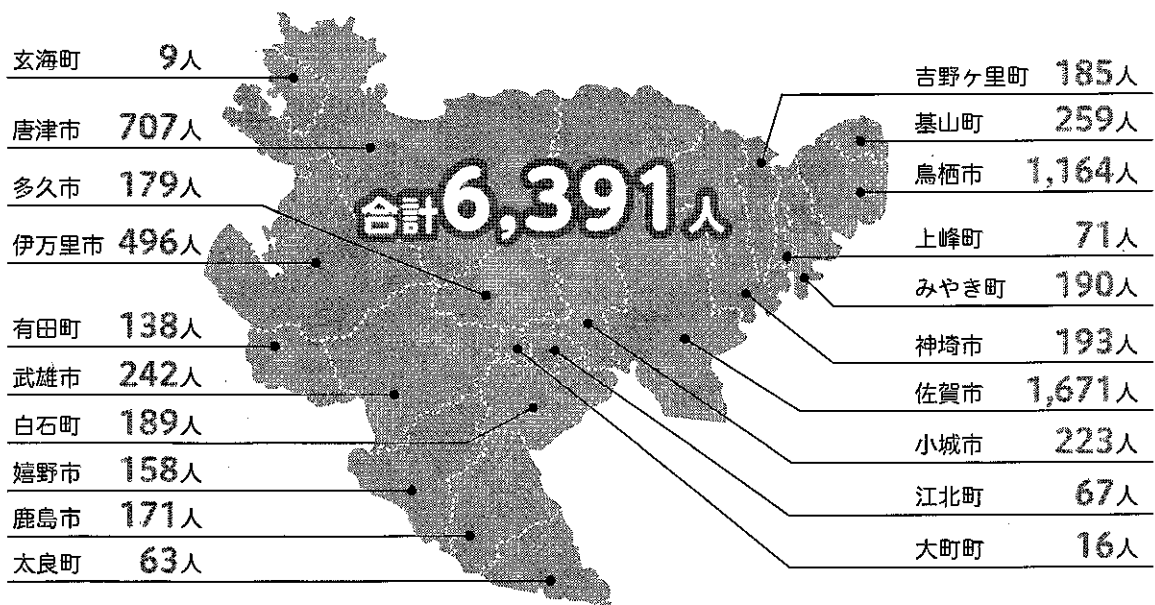
このような中で、国籍や民族などの異なる人々がお互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に生きていく、いわゆる「多文化共生」の地域づくりが求められています。

また近年、全国的に自然災害が多発する中、地域の自助力、地域住民の連携が見直されています。佐賀県が国籍を問わず万人にとって安全で住みよい場所となるよう、当協会も多文化共生の地域づくりに全力をあげてまいります。様々なセミナーやイベント等を通し、在住外国人と県民が同じ地域構成員として、協働・協力体制を築いていけるよう、取り組んでいきたいと思っています。

これからも民間団体等と連携・協働し、日本語教室や医療通訳サポーターの派遣など、多文化共生事業を一層進めていきたいと考えていますので、皆様の温かいご協力・ご支援をお願いいたします。

佐賀県内外国人住民の数（市町別）

※2022年1月1日現在佐賀県国際課調べ



役員名簿

2022年3月末日

評議員 [12名]

役職名	氏名	団体名・職名
評議員	寺本 憲功	国立大学法人佐賀大学 国際交流推進センター長
評議員	宮崎 珠樹	佐賀県商工会連合会 専務理事
評議員	江島 秋人	佐賀県中小企業団体中央会 専務理事
評議員	古賀 孝博	佐賀県農業協同組合中央会 専務理事
評議員	山崎 日出男	一般社団法人佐賀県建設業協会 専務理事
評議員	井手 雅彦	一般社団法人佐賀県労働者福祉協議会 理事長
評議員	高島 忠平	公益財団法人佐賀県芸術文化協会 理事長
評議員	山口 七重	佐賀県地域婦人連絡協議会 会長
評議員	白濱 百合子	佐賀生活文化交流会 代表
評議員	西岡 豊	佐賀県高等学校PTA連合会 会長
評議員	前島 梅子	日本語ネットワーク佐賀 代表
評議員	井崎 和也	佐賀県地域交流部国際課 課長

理事 [12名]

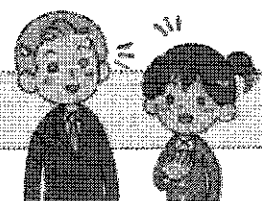
役職名	氏名	団体名・職名
理事長	黒岩 春地	佐賀県国際交流協会 事務局長兼務
副理事長	山下 宗人	佐賀県地域交流部 部長
副理事長	横尾 俊彦	佐賀県市長会 理事
副理事長	伊東 健吾	佐賀県町村会 理事
副理事長	吉園 裕久	佐賀県商工会議所連合会 専務理事
理事	大井手 広毅	佐賀県教育庁 副教育長
理事	川崎 和正	佐賀玄海漁業協同組合 組合長
理事	江打 正敏	佐賀ユネスコ協会 会長
理事	中尾 清一郎	株式会社 佐賀新聞社 社長
理事	吉村 俊造	株式会社 サガテレビ 会長
理事	中島 章夫	一般社団法人佐賀県観光連盟 専務理事
理事	大野 博之	一般社団法人ユニバーサル人材開発研究所 代表理事

監事 [2名]

役職名	氏名	団体名・職名
監事	江副 元喜	佐賀県市長会 事務局長
監事	嘉村 政彦	佐賀県商工会連合会 事務局長

事業年表

2021 4.20~2.22	ランチタイム Seminars! (全6回)
6.7	(公財)佐賀県国際交流協会2021年度 第1回理事会
6.24	(公財)佐賀県国際交流協会2021年度 第1回評議員会
7.16	在住外国人のための無料健康相談会
8.23	子ども日本語学習サポータースキルアップ講座
9.15~11.15	2021多文化アート展~筆と墨~ 作品募集
10.1~10.31	2021さが国際フェスタ月間
10.2~1.25	医療通訳養成講座 初心者コース(英語・中国語・ベトナム語/全9回)
10.5	「やさしい日本語」啓発セミナー実施
10.17	第6回 外国人による日本語スピーチコンテスト
10.31	さが国際フェスタメインイベント in 小城
11.6	多文化共生セミナー~日本社会と外国人労働者 これまでとこれから~
12.7	2021多文化アート展~筆と墨~審査会
12.8	在住外国人のための無料健康相談会
12.10	日本語ボランティア研修会
12.26	2021多文化アート展~筆と墨~ 表彰式
2022 1.4~3.9	2021多文化アート展~筆と墨~ 巡回展 (1/4~31佐賀商工ビル、2/1~9ゆめタウン佐賀、2/17~3/9佐賀市立図書館)
2.1~2.28	「やさしい日本語」普及・啓発月間パネル展
3.24	多文化共生セミナー「イスラムの文化を知ろう」 第1回実施 (全3回)
3.25	(公財)佐賀県国際交流協会2021年度 第2回理事会



A コミュニケーション支援

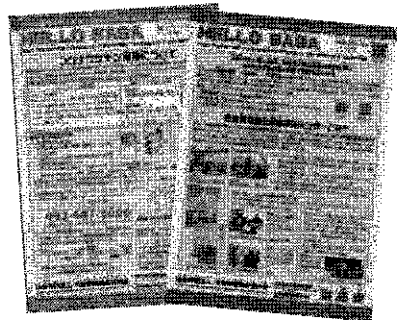
国際交流・協力情報誌発行(外国人向け)



佐賀での生活に役立つ情報や、県・当協会及び県内の民間国際交流団体等のイベントの広報を記載し、県内の各市町に送付、設置協力いただき、情報の提供を行いました。

全カラー2ページ2,500部 年2回発行

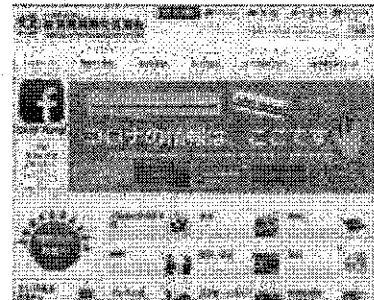
配布先：当協会賛助会員、各市町、公民館、教育機関、公共施設、国際交流団体、教会、エスニック料理店等



情報収集・提供

インターネット・メールやホームページ等で情報提供を行いました。イベント情報などの更新を随時行い、常に新しい情報を提供できるように整え、必要に応じて佐賀県発信の情報を多言語で配信しました。

また、Facebook、LINEを活用し、さまざまな多文化共生に関する情報や外国人住民に有益な情報を素早く届けることができました。



日本語教室支援



外国人住民のコミュニケーション支援、多文化共生の地域づくり、生活者支援を目的として、地域で活動している日本語指導のボランティアグループに対して会場費や教材費等の活動費の補助や広報協力等を行い、その運営を支援しました。



県内の日本語教室

市町	グループ名	市町	グループ名
佐賀市	にほんごすいもく 水ようび	唐津市	唐津日本語教室
	にほんごすいもく 木ようび		にほんご晴
	どようび日本語 in SAGA	伊万里市	日本語教室いまり
	日本語ネットワークSAGA		Awesome IMARI
	ごんにちワークSaga	武雄市	たけお日本語
	国際コミュニケーションネットワークかけはし	鹿島市	かしま日本語教室
外国人のための日本語サークルラポール	白石町	しろいし Wa!Wa!Wa!	
基山町	基山にほんごひろば きやまっち	嬉野市	カフェこくさいじん
小城市	おぎ日本語教室	鳥栖市	とすにほんごひろば〜とりんす〜
多久市	多久日本語教室	有田町	日本語教室 in Arita

(2021年度補助金交付実績 8団体)

日本語ボランティア研修会



日本語ボランティア活動をしている方やこれからボランティアを始めたいと考えている方を対象とした講座を行うことで、今後の日本語教育の活動者につながる人材を育成するとともに、活動中のボランティアも共に教室のあり方・活動を考える場を提供することを目的とし実施しました。

日本語ボランティア研修会



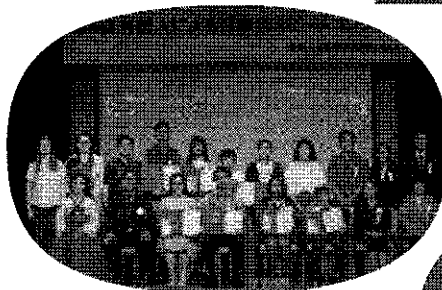
- 2021年12月10日(金) 13:30~16:30
- 佐賀商工ビル4F会議室A・G
- 北九州国際交流協会 事業推進課 主任
矢野 花織氏
- 23名



第6回 外国人による日本語スピーチコンテスト



佐賀市、佐賀市国際交流協会との共催により開催。青少年部門4名、成人部門11名、計15名の日本語学習者が日頃の成果を発表する貴重な機会であると同時に、佐賀県民と外国人住民の相互理解・交流が促進され、双方に新たな視点を与える機会となりました。



- 2021年10月17日(日) 13:00~17:00
- エスプラッツホール (佐賀市文化交流プラザ交流センター内)



「やさしい日本語」啓発セミナー



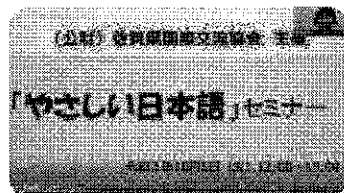
外国人とのコミュニケーションに有効なツールの一つ、やさしい日本語。協会ではその「やさしい日本語」の普及・啓発に努めるために、外部講師を招き「やさしい日本語」セミナーを行政職員・教育機関にむけ、オンライン形式で開催しました。

また、コロナ禍で対面での講座の実施が難しい時期でも、できるだけ多くの人に「やさしい日本語」の普及を図るために、各地でパネル展を開催しました。武雄市、嬉野市では、役所のホールでの展示、他にも市内の公共スペースなどで展示をし、訪れた方に「やさしい日本語」の有効性や、使い方等について知ってもらうことができました。

- 2021年10月5日(火)
- 12:00~13:00
- 佐賀県日本語学習支援“カスタネット”
貞松 明子氏

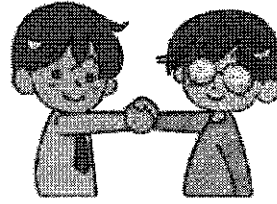
【パネル展】

武雄市、佐賀商工ビル、嬉野市、佐賀市立図書館



B 生活支援

在住外国人生活支援



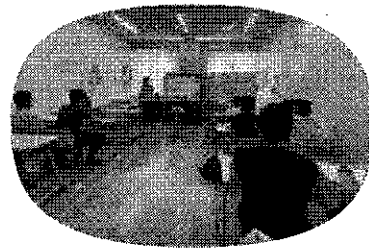
生活相談、専門家相談

生活相談・専門家相談については「さが多文化共生センター」p.15をご覧ください。

健康相談

済生会唐津病院の協力を得て、健康面や医療制度・手続きに関する外国人住民の相談会を開催しました。2021年度は年3回を予定しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2回の実施となりました。

- 2021年7月16日(金) 12:30~14:00
第一部9名(コロナワクチンに関するセミナー)
第二部2名(個別相談)
佐賀市(オンライン)
- 2021年12月8日(水) 12:30~13:30(個別相談)
5名
佐賀市(オンライン)



7月16日(金)第一部セミナーの様子

医療通訳

外国人住民の医療面に関する支援として、「医療通訳サポーター」を保健・医療機関等(8箇所)へ延べ34件(うち英語29件、中国語5件)派遣しました。

また、医療機関に働きかけて、多言語通訳コールセンターの案内と一層の利用を促しました。

医療通訳サポーター初心者コース

2021年10月2日~2022年1月25日(全9回)

*第1回~第3回までは、県民公開講座として開講

第1回「健康支援に寄り添う医療通訳」長崎県立大学 李節子氏

第2回「医療通訳者としての心構え・倫理規定」医療通訳研究会代表 村松紀子氏

第3回「医療通訳の実践~通信技術から通訳者を取り巻く環境まで~」全国医療通訳者協会代表理事 森田直美氏

第4回「医療通訳者のための基礎的な医学知識」佐賀大学医学部 青木洋介氏

第5回「保健衛生に関する基礎知識」佐賀市保健福祉健康づくり課 和田歩氏

第6回~第9回 実技演習

・英語 志水多美子氏

・中国語 北京・ニーハオ中国語センター 蔣晶氏

・ベトナム語 BUI THI THU SANG氏

第1回 46名、第2回 33名、第3回 38名

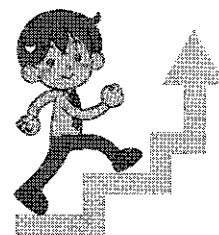
コース受講 英語12名、中国語4名、ベトナム語4名



子ども日本語学習サポーター等派遣



県内の小中学校に通う外国につながりを持つ児童生徒及びその保護者、学校関係者を対象に、子ども学習支援サポーターを派遣しました。学校からの依頼に応じて、当協会のボランティア登録者からサポーターを選定し、県内の小学校、中学校で日本語指導や通訳としてご活躍いただきました。



活動内容

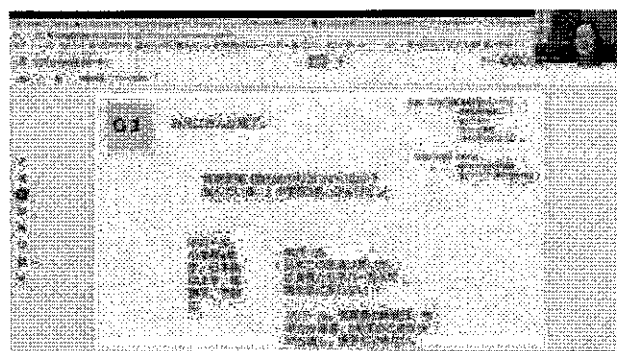
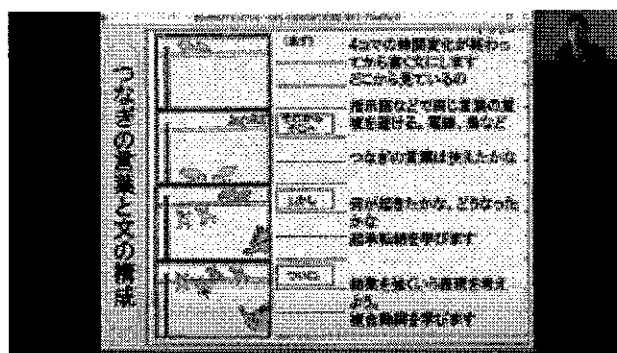
- ①子ども日本語学習サポーター：児童生徒本人に対する日本語指導や学習のサポート
- ②子ども通訳・メンタルサポーター：児童生徒本人やその保護者と学校間での通訳・母語でのメンタルケア

2021年度 派遣実績

子ども日本語学習サポーター	81件 (613時間)	小学校20校、中学校10校
子ども通訳・メンタルサポーター	10件 (14時間)	小学校10校、中学校0校

子ども日本語学習サポータースキルアップ講座

- 学習力を育てる日本語指導—児童・生徒に学び方が伝わる授業実践
- 2021年8月23日(月) 13:30~16:30
- とよなかJSL 田中 薫氏
- オンライン (ZOOM)
- 参加費 16名





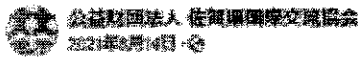
2021年8月豪雨災害に関する佐賀県災害多言語支援センターの活動



2021年8月14日から県国際課と共同で佐賀県災害多言語支援センターを設置し、大雨に関する多言語情報の提供を実施しました。

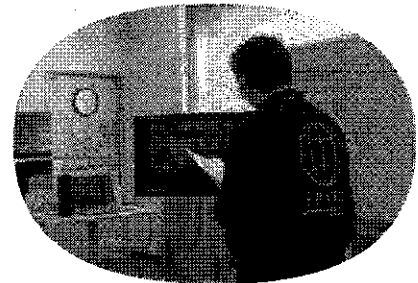
今回の活動では、ホームページなどにおける多言語情報の発信や災害情報収集など、全員が在宅勤務により初期対応を実施し、全国的にも特徴のある活動となりました。

また、11月17日には災害多言語支援センターの運営訓練を実施いたしました。ここでも8月の活動を踏まえ、在宅勤務での対応向上を目指した内容に取り組みました。



公益財団法人 佐賀県国際交流協会
2021年8月14日

緊急事態宣言
緊急事態宣言【命を守る行動をしてください】 / Emergency Warning
【Take action to keep yourself safe】 / 已发布特别警报 / 已发布特别警报【안전
을 위해 대비하여 주십시오】 / Cảnh báo đặc biệt đã được ban bố /
Emergency Alert / Babala / PERINGATAN KHUSUS / (UTAMAKAN
KESELAMATAN DIRA dalam setiap tindakan Anda / विराम अलार्म - कृपया तय्यारी खोल
वकालतका लागि कदम चाल्नुहोस्)



新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種に関する対応

新型コロナウイルス感染症に関する様々な情報を多言語発信いたしました。

また、ワクチン接種に関してもホームページでの情報発信の他、動画の作成や集団接種会場での活動など、さまざまな支援活動を行いました。

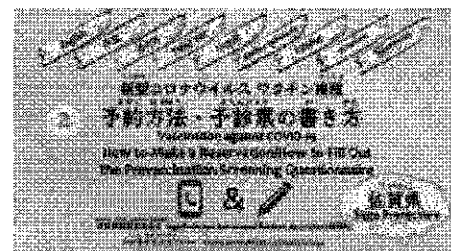
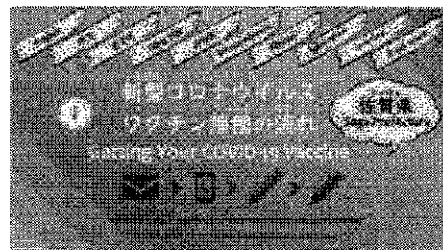
動画作成

外国人住民向け2本

- ・ワクチン接種の流れ
- ・予約の仕方・予診票の書き方

担当者向け3本

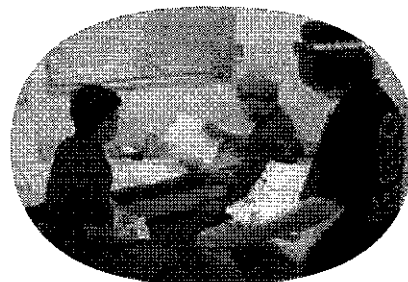
- ・電話通訳サービスとは
- ・電話通訳サービス（コールセンター）の利用方法
- ・電話通訳利用のコツ



校外会場の多言語支援活動

- ・多久市×3回
- ・対象者：ベトナム、ミャンマー、インドネシア、フィリピン

コロナワクチン
情報発信ページ



C 多文化共生の地域づくり

国際交流・協力情報誌発行（日本人向け）



県・当協会及び県内の民間国際交流団体等のイベントの広報、国際交流・協力を実践している県内の国際交流団体の紹介、各種研修会のお知らせ等を記載し、県内の各市町に送付、設置協力いただき、国際交流・協力に関する情報の提供を行いました。

全カラー4ページ 2,500部 年4回発行

配布先：当協会賛助会員、各市町、公民館、教育機関、公共施設、国際交流団体等



地球発見隊出前講座



多文化共生理解出前講座（外国人講師）

国際理解講座を実施する学校、公民館、団体、PTA等の依頼に応じて、留学生、県内外国人住民の方を講師として派遣し、さまざまな国の歴史や文化を学び交流を深め、国際交流や協力への関心を高めることができました。

派遣件数	53件
派遣講師数	74名（延べ）
受講者数	3,499名

佐賀清和高等学校

インドネシア

111名

講座のねらい

本校探究文理科の1年生は、英語合宿に参加する予定があり、その際に、多くの外国人留学生と交流することになる。しかし、多くの生徒が、外国人とふれあうことが初めてのため、何の知識もなく交流することになる。合宿における異文化交流を活発化するためにも、事前に海外の生活や文化を学ぶ機会が欲しいと考え、例年お願いしている。

講座の内容 （概要）

- インドネシアは日本と同じ島国で大小さまざまな島がある
- インドネシアの島々の言語、文化、宗教、生活様式の違い
- 講師の方がどういった目的で、何を勉強しに日本に来られたか
- インドネシアの島々について映像を交えて、易しい英語を使いながらのお話
- インドネシアの伝統的な楽器「アングルン」の紹介と演奏



受講者感想 （抜粋）

- インドネシアは島々で言語が違うことを知った。しかし公用語があり人々は上手に使い分けていることが分かった。また、生活様式も違うことが知れた。
- パワーポイントの映像を見て、インドネシアに興味を持った、将来行ってみたいと思った。他の外国も知りたいと思った。インドネシアの文化、伝統を身近に感じることができた。
- 講師の先生の大学での学びを聞き、自分の将来を考えるきっかけとなった。
- 講師の先生の話す英語が聞き取れ、自分の英語力に少し自信が持てた。
- 伝統的な楽器である「アングルン」を実際に体験出来て楽しかった。「君が代」を演奏されたことにびっくりした。感動もした。

多文化共生理解出前講座（SPIRA職員）

市役所や町役場、民生委員協議会を対象に、県内外国人住民の現状、やさしい日本語など多文化共生社会づくりを目指すために必要なことをSPIRA職員を講師として実施しました。

派遣件数	8件
派遣講師数	9名（延べ）
受講者数	370名

国際協力理解出前講座（日本人講師）

国際理解講座を実施する学校、公民館、団体、PTA等の依頼に応じて、県内CSOの海外経験豊富な日本人の方を講師として派遣し、それぞれの国での活動体験や日本との違い等を学び、国際交流や協力への関心を高めることができました。



派遣件数	6件
派遣講師数	6名（延べ）
受講者数	506名

多文化共生セミナー



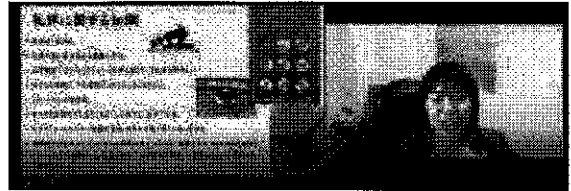
異文化理解～イスラム文化を知ろう～

県内の様々な業種の方々にイスラムの文化について理解を深めてもらうことで、イスラム文化圏の方々への偏見や差別を防ぐとともに、また県民と交流の機会拡大に繋げる目的で、セミナーをオンラインで開催しました。セミナーを通し、参加者へイスラムの文化背景をもった人に対して、どのような配慮が必要なのかを考える機会を提供しました。

1回目

2021年3月27日(土) 13:30～15:00

スリ プディ レスタリ 氏
(立命館アジア太平洋大学所属、言語教育センター 特任講師)



2回目

2021年4月10日(土) 13:30～15:00

古城 良(まこと) 氏
(福岡モスク アンヌールイスラム文化センター)
エムディ ティ アイ カーン 氏 (佐賀大学 准教授)
シャン ゼディ 氏 (佐賀市国際課 国際交流員)

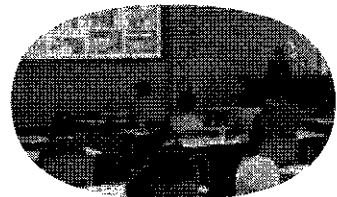


※コロナの影響で3回目のオンライン料理交流会は実施できませんでした。

多文化共生～日本社会と外国人労働者 これまでとこれから～

2021年11月6日(土) 14:00～15:30

佐賀商工ビル 7F 大会議室
望月 優大(もちづき ひろき) 氏
(ライター/ウェブマガジン「ニッポン複雑紀行」編集長)
42名(申し込み総数 57名)



「多文化共生セミナー」は日本籍住民と外国籍住民がお互いの文化や考え方などを理解し、尊重すると共に安心して快適に暮らすことのできる地域社会(多文化共生社会)づくりの推進を目的に多文化共生・国際交流の分野でご活躍されている著名な方を招いて定期的に開催しています。

今年度は、技能実習生の問題等について取材をされている望月氏を講師として迎え、地域の外国人労働者を取り巻く問題や、現状、取り組むべき課題などについて講演していただきました。

佐賀県には2021年1月1日時点で2,089人の技能実習生(同統計、外国人住民全数:6,391人)が在籍する状況において、主催者である当協会及び参加者の皆さんにこれから外国人住民と共に、同じ地域で生活者として暮らしていくために私たちにできる事、必要なことは何かを深く考える機会となりました。

ランチタイム Seminars!



お昼休みの時間を利用して、どなたでも気軽に参加いただけるセミナーです。佐賀県国際交流員の3人を講師に迎えて、多様な視点で出身国の文化等について話していただきました。オンラインでもライブ配信し、たくさんの方に参加いただきました。

2021年4月20日～2022年2月22日(全6回)

Maarten Rutte 氏(オランダ出身)
鞠 美真 氏(韓国出身)
Phan Nguyen Anh Tuyet 氏(ベトナム出身)



ボランティア啓発・推進



ことば多言語、医療通訳、ことば日本語、子ども支援、ホストファミリー、の5つの分野でボランティア登録を行い、ボランティア登録者のメールアドレス等を管理し、情報を提供しました。各種イベント、日本語指導や医療現場での通訳等、地域外国人住民の方々への支援に協力していただきました。

ボランティア登録者数 (2022年3月31日現在)

ことば多言語 ・うち医療通訳	204名 36名
ことば日本語 ・うち子ども支援	138名 48名
ホストファミリー	63家庭

【登録者数 合計 延べ496名】

多文化共生等助成事業

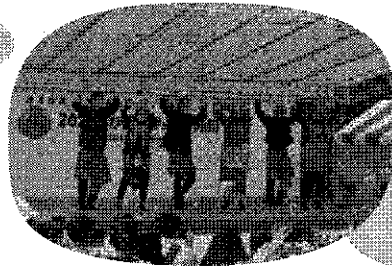
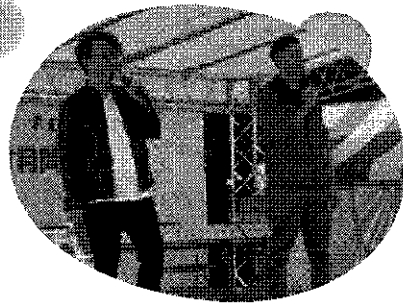


より多くの県内の民間団体に活用しやすくすることを目的に2021年度をもって多文化共生等助成金事業の助成要綱を見直し、新要綱では対象事業を大きく「多文化共生事業」、「国際交流・協力事業」の2つに分けました。2021年度では、本県の国際化推進、多文化共生の推進に資した6の団体（多文化共生事業5、国際交流・協力事業1）の民間団体に対象事業経費の一部を助成金として交付をしました。

分野	実施主体	事業
多文化共生事業	ICE-T	「ICE-Tスポーツ交流会」 在住外国人と地域住民が身近な関係を築き上げる一歩につなげることを目標に、武雄市内外の外国人住民と地域住民がスポーツを通して交流を深めた。誰もが参加しやすいニュースポーツなどを行うことで参加者は安全かつ楽しく交流することができた。昨年度も開催しており、地域イベントとしての定着も考えられる。
	佐賀県日本語学習支援 “カスタネット”	「初級日本語集中講座in島嶼」 新型コロナウイルス感染対策を講じ、6日間（計22時間）にわたっての日本語集中講座を開催した。受講者のレベルに合わせ、初級の語彙、文系内容を決め、体系的な文法講座を実施し、講座が終わる頃には、受講者は、簡単な日常会話を聞いて、ある程度理解できるようになった。
	隣友の会	「Saga Mama Kitchen 料理交流会」 新型コロナウイルス感染拡大の不安の中、他国で暮らす方々と互いの文化や習慣を理解して共に協力し支え合う関係性を構築することを目的として開催。参加者が一緒に料理を作ることで、作業中に名前を呼び合う関係性を築くことができた。また、悩みを聞き、解決のために行政機関等へ繋げることができた。
	佐賀県外国にルーツを持つ 生徒交流を支援する会	「さがわーるとりんぐ」 外国にルーツを持つ生徒及びその保護者を対象に3回の交流会を開催。交流会に合わせ、進路ガイダンスや日本の学校のシステム等について説明した。将来の夢や進路について考える機会になると同時に、外国にルーツを持つ子どもたちが同じ母語を話す友だちと出会える場にもなった。
国際交流・協力事業	佐賀女子短期大学 学生ボランティア部 Sun-kissed	「減災・防災で安心・安全 佐女援 Sun-Kissed」 佐賀女子短期大学の学生ボランティア活動の1つとして、留学生との交流会や外国人向けの交通ルール、防災などのセミナーを開催。留学生を中心に佐賀県で災害時でも安心・安全に住むことのできるための手段を身につける事ができた。また、学園祭ではパネル展示等も実施した。
	特定非営利活動法人 地球市民の会	「SDGs Academy SAGA 2021」 アジアの学生がSDGsをテーマに交流する「SDGs Academy SAGA」。3年目になる今年度は日中韓にタイの学生が加わり、事業を実施。SDGsがテーマの基調講演、アクションプラン作成のワークショップを経て、各国からの参加者かにより編成されたチームからSDGsの3つのゴールについて成果報告会が行われた。
	佐賀地区日中友好協会	「中国茶と文化交流～中国茶の探訪へようこそ～」 中国茶について産地、作り方、味、風味、歴史などを紹介するとともに留学生による郷土茶の紹介も行った。同時にそれぞれのお茶を中国語で発音するなど交流も行われた。実際にお茶を味わって体験することで、中国茶の歴史、文化等の奥深さが伝わり、中国への関心を抱く機会となった。

他、4団体より助成の申請がありましたが、新型コロナウイルスの影響を受け、開催中止となったため、事業として助成できませんでした。

さが国際フェスタ



今年で24回目の開催を迎えた国際フェスタ。今年も活動の地域展開を図るべく、メインイベントを小城市で開催しました。10月31日（日）のメインイベントでは、小城公園のグラウンドを使用し、多国籍料理ブース、異文化体験ブース、民俗雑貨販売、団体活動PRブース等、小城市で活動をする国際交流・協力団体を中心に県内から38の団体の参加があり、日本人だけでなく多くの留学生にも参加していただきました。

当日は、日本人住民、外国人住民合わせて約2,300名もの来場があり、このフェスタをきっかけに、普段の生活ではなかなか触れ合う機会がなかった留学生と地域住民が触れ合う機会にもなり、地域住民と外国人住民の顔の見える関係づくりにも貢献できました。

また、月間を通して県内CSO団体による国際交流・協力に関するイベントが開催され、月間中は佐賀市内のみならず、今のコロナ禍でも開催できるオンライン形式でのイベントも開催されるなど、様々な国際交流・協力が盛んに行われ、異文化に触れる機会となりました。

県内国際交流・協力団体によるイベント（一部）

10/17
[日]

JICA海外協力隊ナビ

- JICA九州（JICAデスク佐賀）
- 佐賀県国際交流プラザ

隊員OVによるイベント「JICA海外協力隊」の広報をしました。

10/19
[火]

第24回 テラ・カフェ in 佐賀

- 認定NPO法人テラ・ルネッサンス
- 佐賀県国際交流プラザ

テラ・ルネッサンスの海外事業地の活動報告会を実施しました。

10/20
[水]

シンポジウム「コロナ禍における地域日本語教室」

- 伊万里市まちづくり課
- 伊万里市民図書館

文化庁地域日本語教育アドバイザー西原鈴子氏、仙田武史氏、高柳香代氏を招いて、コロナ禍における全国各地の地域日本語教室の先進的な取り組みについて紹介しました。

多文化共生情報発信事業



ラジオ放送（えびすFM）

多文化共生の地域づくりを促進するため、県内の外国人住民やボランティアをゲストに迎え、多文化共生に関するさまざまな情報をコミュニティFM（えびすFM）のラジオ番組により発信しました。

毎月第3水曜日 19:00～20:00 11回

SPIRA職員、県国際課職員、外国人住民、日本語教室ボランティア等



「2021多文化アート展～筆と墨～」

本アート展では「Free Your Heart of Borders ～心の国境をなくそう～」をテーマに文字（言語不問）や絵を用いて表現した書道作品を募集しました。表現方法を日本語に限定しないことで、外国人住民のみなさんに自由に表現してもらおう場を提供するとともに、応募作品を県内の公共施設等で展示することにより、県民のみなさんに外国人住民と共に地域で生活することについて考えてもらうきっかけとなりました。

2021年12月26日 佐賀県国際交流プラザ

計3か所（佐賀商工ビル、ゆめタウン佐賀、佐賀市立図書館）



全応募作品集は
こちらから
ご覧いただけます

多文化アート金賞受賞作品
受賞者：ジヨシーアークラークさん（イギリス出身）

佐賀県国際交流プラザ運営管理事業

佐賀県の委託を受け、2021年4月1日より佐賀県国際交流プラザの運営管理を行うことになりました。佐賀県国際交流プラザは誰でも利用できる「海外と日本をつなぐ」施設です。このプラザでは、国際交流・協力、日本語・外国語学習に関する書籍の貸出や国際交流等外国人住民と日本人住民の交流を図る様々なイベントを開催しています。

また、同プラザには調理室や研修室等外部貸出可能な施設も完備しています。様々な国の人たちと交流をしてみたい、世界の情報を知りたい、国際交流イベントに参加してみたいと思われる方はぜひ遊びに来てください。



佐賀県国際交流プラザ

0952-25-7004

9:00～21:00

9:00～17:00

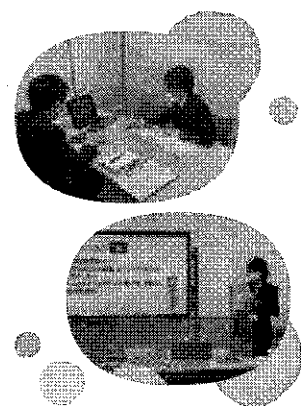
その他の 協会事業

インターンシップの受入

インターンシップの受入れを行い、学生のキャリアビジョンのお手伝いをしています。各種研修会・イベントの準備や運営補助、翻訳作業、JICAデスク佐賀国際協力推進員や国際交流員との対談など、さまざまな業務に参加し、国際交流・協力や異文化理解、多文化共生についての理解を深めるとともに今後のキャリアについて考える機会にさせていただきました。

受入実績

学 校	実 施 期 間	参加人数
佐賀女子短期大学	2021年9月13日～17日	1名
	2021年12月20日～24日	1名（ミャンマー出身）
佐賀大学（卒業生）	2022年1月24日～2月10日	1名（ミャンマー出身）
佐賀大学	2022年3月14日～18日	1名



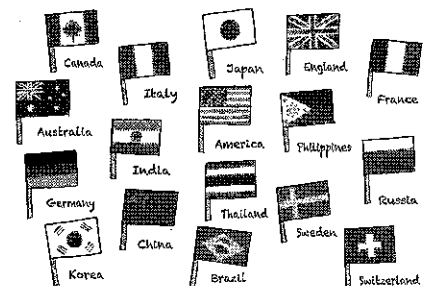
国旗の貸出

SPIRAでは、県内の各種催しでご利用いただける国旗を貸し出しています。国際交流・協力、多文化共生等の行事でぜひご活用ください。

協会の賛助会員である個人・団体及び、県内の教育機関、公共機関等

掲揚旗、卓上旗 全187か国 無料

1回につき2週間以内 延べ16件



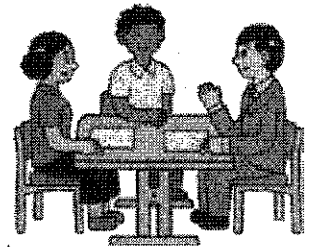
さが多文化共生センター



県からの委託を受けスタートした外国人住民に関する総合相談窓口「さが多文化共生センター」は、2021年10月30日に2周年を迎えました。専任の相談員が通訳者や専門家と連携のもと、対面・電話・メール・SNS等の方法を用いて相談対応しました。またホームページを開設したり、広報用動画を作成したりするなどして、情報発信の体制強化を図りました。

対面相談実施曜日

月	火	水	木	金
やさしい日本語 ベトナム語	やさしい日本語 ベトナム語 中国語	やさしい日本語 ベトナム語 英語	やさしい日本語 ベトナム語 韓国語	やさしい日本語



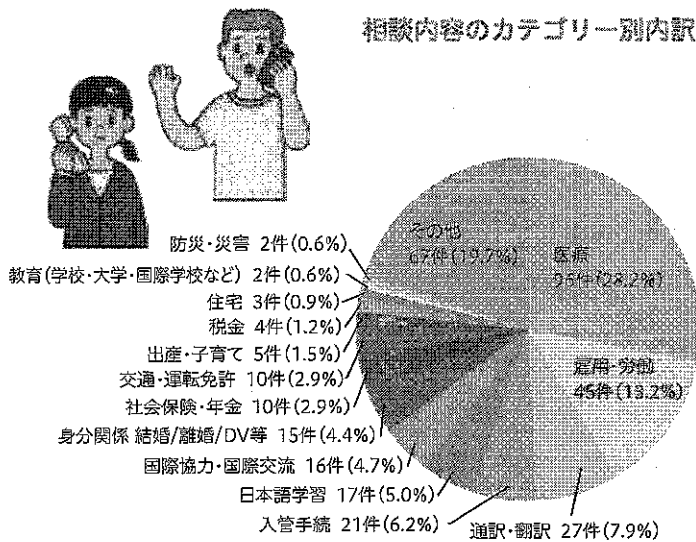
その他の言語については多言語通訳コールセンターや翻訳機（ポケットク）を利用して対応

生活相談

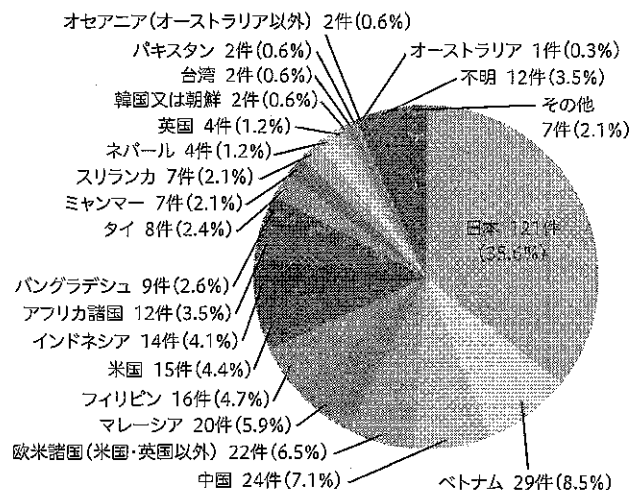
相談内容に応じて、情報提供を行うほか、当協会登録ボランティア、各市町、各士業の専門家、民間国際交流団体等に引き継ぐなど、連携を図りながら対応しました。また、他県の地域国際化協会やCSO（市民社会組織）等民間団体とも連携し、より良い解決方法について情報収集を図りました。

2021年度 相談の件数 延べ 340件

相談内容の 카테고리別内訳



相談者国籍別内訳

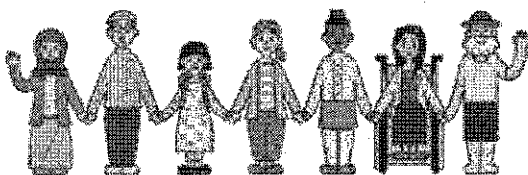


専門家相談

生活相談の中で専門家による対応が必要と判断される案件は関連機関と協力し、相談を実施しました。2021年度は弁護士に2件、行政書士に3件、佐賀県しごと相談室に1件、その他の専門家に2件ご対応いただきました。

新型コロナウイルス感染症関連の在住外国人支援

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う在住外国人支援として、ワクチン接種に関する情報を多言語で配信しました。情報の配信にあたっては、国際交流協会ホームページ内での特設ページ開設、各種動画の作成（ワクチン接種の流れ、予約方法、予約票の書き方）を行い、よりわかりやすい情報発信に努めました。



賛助会員

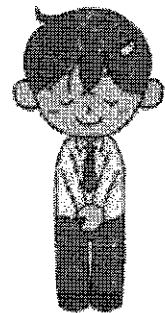
賛助会員募集

当協会では、県民総参加の「多文化共生の地域づくりの推進」のために、賛助会員制度を設けております。地域の国際化・国際交流、多文化共生の進展に向けて、広く賛助会員としての参画をお願いします。

当協会の趣旨に賛同し、協会の運営活動に協力していただける個人・団体・企業・機関等

賛助会員の区分と会費

個人会員	年会費 1 口	3,000 円
団体会員 (団体・企業・機関等)	年会費 1 口	10,000 円



協会発行の国際交流・協力情報誌「HELLO SAGA」(年 4 回発行)
民族衣装の無料貸出



賛助会員 (個人50名、団体33団体) (2022年3月31日現在) (団体名については50音順・敬称略)

一般財団法人 言語交流研究所 ヒッポファミリークラブ	佐賀中国交流倶楽部
オイスカ佐賀県推進協議会	佐賀西部広域水道企業団
株式会社 アドワークス	佐賀ユネスコ協会
株式会社 音成印刷	社会福祉法人 佐賀整肢学園
株式会社 翔和	税理士法人 東京会計グループ
株式会社 副島印刷	滝登り実行委員会
株式会社 テクノ九州	中原胃腸科内科
株式会社 ビーボン	西九州大学
公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団(アバンセ)	西九州大学短期大学部
国立大学法人 佐賀大学国際交流推進センター	にほんごすいもく 水ようび
こんにちはワークSaga	にほんごすいもく 木ようび
佐賀経友会事業共協同組合	日本文化教育学院
佐賀県商工会連合会	特定非営利活動法人 ヒーリングファミリー財団
佐賀県地域婦人連絡協議会	モードサプライ協同組合
佐賀広告センター	有限会社 白石開発
佐賀女子短期大学	ラボ国際交流地域会 (公益財団法人ラボ国際交流センター)
佐賀生活文化交流会	



公益財団法人 佐賀県国際交流協会 2021年度 年報

発行 公益財団法人 佐賀県国際交流協会 発行日 2022年5月20日
〒840-0826 佐賀県佐賀市白山2-1-12 佐賀商工ビル1階 佐賀県国際交流プラザ内
TEL : 0952-25-7921 FAX : 0952-26-2055 E-mail : info@spira.or.jp

